
第9回モニタリング会議 ご説明資料 (2016年4月～2016年12月業績報告)

2017年3月7日



1. 計画と実績の対比	p.3
□ 全社PL	
□ 路線バスPL	
□ 軌道PL	
2. 公共交通利用状況	p.7
□ 路線バス	
□ 軌道	
3. 公共交通取組状況	p.9
4. 公共交通に関する設備投資の実施状況	p.10

計画と実績の対比（全社PL）

全社の2016年4月～12月実績は、以下のとおりです

※事業再生計画の財務数字は、旅行業（とさでんトラベル）との合算であり、とさでん本社との合算数値となります

単位：百万円

	2016/4～2017/3月 12ヶ月 計画①	2016/4～6月 第1四半期 実績	2016/7～9月 第2四半期 実績	2016/10～12月 第3四半期 実績	2016/4～12月 9ヶ月 実績②	進捗率 ②÷①	2015/4～12月 前年同期 実績	前年 同期比
売上高	5,568	1,458	1,464	1,530	4,452	80%	4,563	98%
売上原価	579	195	152	244	591	102%	634	93%
差引収益	4,989	1,262	1,313	1,286	3,861	77%	3,929	98%
人件費	2,593	603	726	733	2,062	80%	2,020	102%
厚生費	304	82	106	89	277	91%	266	104%
動力費	533	82	95	88	265	50%	292	91%
修繕費	306	72	77	80	229	75%	249	92%
物件費	108	22	29	22	73	68%	81	90%
経費	1,010	238	253	238	729	72%	712	102%
諸税	105	18	25	16	59	56%	56	105%
減価償却費	451	112	99	119	330	73%	311	106%
営業費計	5,410	1,230	1,408	1,384	4,022	74%	3,987	101%
営業利益	-421	33	-96	-99	-162	-	-58	-
営業外収益	56	35	20	14	69	123%	71	97%
営業外費用	74	27	33	17	77	104%	62	124%
経常利益	-439	41	-109	-102	-170	-	-49	-
特別利益	498	8	7	4	19	4%	44	43%
特別損失	182	34	50	42	126	69%	129	98%
税引前当期利益	-123	15	-152	-140	-277	-	-134	-
法人税等	2		10		10	-	8	125%
当期純利益	-125	15	-162	-140	-287	-	-142	-

計画と実績の対比（全社PL）

＜事業再生計画比＞※2017/3月期は赤字計画

- 売上高は、計画進捗率80%。人件費・厚生費増はあるものの、軽油単価の低位推移により路線・高速・貸切バスの動力費が低減したことなどから営業費用が計画比で抑制されたため、営業利益・経常利益ともに計画を上回る進捗。

＜2016年4月～12月第3四半期の概況＞

【売上高】 4,452百万円となり、計画に対する進捗率80%

- ・路線バス事業の売上高は835百万円、計画に対する進捗率75%
- ・軌道事業の売上高は804百万円、計画に対する進捗率80%

【売上原価】 原価率の高い旅行事業部門の受注好調を受け、計画に対する進捗率102%

【差引収益】 3,861百万円となり、計画に対する進捗率77%

【営業費】 人件費・厚生費増はあるものの、軽油単価の低位推移などにより計画に対する進捗率74%

【営業利益】 △162百万円の営業赤字であるが、計画を上回る進捗

【営業外収益】 69百万円は、業務委託料・有価証券の配当金等

【営業外費用】 77百万円は、支払利息・棧橋基地集約による土地賃借料等

【経常利益】 △170百万円の経常赤字であるが、計画を上回る進捗

【特別利益】 補助金の一部入金はあるが、計画上補助金は年度末に一括計上

【特別損失】 事業再生関連費用等126百万円（専門家費用・棧橋基地集約費用等）

【当期純利益】 第3四半期までの当期純損益は△287百万円
（補助金収入の大部分が年度末に計上）

＜経費科目説明＞

動力費・・・軌道動力費・バス軽油費等 修繕費・・・軌道、バス事業における各種修繕等 物件費・・・水道光熱費・備用品等
経費・・・賃借料・借地料・広告宣伝費・道路使用料等 諸税・・・固定資産税・自動車税等 減価償却費・・・固定資産償却・のれん代償却
営業外収益・・・受取配当金・業務委託料等 営業外費用・・・支払利息等 特別利益・・・補助金等 特別損失・・・事業再生関連費用等

計画と実績の対比（路線バスPL）

路線バス事業の2016年4月～12月実績の専属営業損益は、以下のとおりです

単位：百万円

	2016/4～2017/3月 12ヶ月	2016/4～6月 第1四半期	2016/7～9月 第2四半期	2016/10～12月 第3四半期	2016/4～12月 9ヶ月	進捗率 ②÷①	2015/4～12月 前年同期	前年 同期比
	計画①	実績	実績	実績	実績②		実績	
売上高	1,106	284	282	269	835	75%	876	95%
売上原価						-		-
差引収益	1,106	284	282	269	835	75%	876	95%
人件費	749	190	230	233	653	87%	605	108%
厚生費	86	26	33	28	87	101%	81	107%
動力費	193	30	36	31	97	50%	105	92%
修繕費	120	29	34	29	92	77%	96	96%
物件費	29	5	8	6	19	66%	18	106%
経費	164	43	49	39	131	80%	121	108%
諸税	25	6	2	2	10	40%	8	125%
減価償却費	79	17	26	19	62	78%	56	111%
営業費計	1,445	345	420	387	1,152	80%	1,090	106%
専属営業損益	-339	-61	-138	-118	-317	-	-214	-
減価償却前専属営業損益	-259	-44	-112	-99	-255	-	-158	-

＜計画差異要因等＞

- ✓ 売上高
 - 計画比75%の進捗率
- ✓ 費用
 - 人件費：夏季・冬季の賞与月、時間外手当増
 - 厚生費：科目計上ルール変更などに伴い増
 - 動力費：軽油単価が計画比低位推移等
 - 修繕費：車両老朽化による臨時修繕の増加
 - 経費：ですかシステム更新賃借料、自動車保険料、棧橋バス駐車場借地料の増
 - その他：ほぼ計画通りの進捗
- ✓ 専属営業損益
 - 動力費の低減はあるが、時間外手当の増加等により、第3四半期経過時点で計画を下回る進捗

＜前年同期差異要因等＞

- ✓ 費用
 - 人件費・厚生費：賞引・時間外手当の増加
 - 経費：ですかシステム更新賃借料、自動車保険料の増

＜科目計上ルール変更とは＞

- ✓ 計画上、嘱託社員等の人件費+厚生費を全て人件費計上していたが、実績は人件費と厚生費をそれぞれに分けて計上している

＜専属営業損益とは＞

- ✓ 本社費配賦前の事業別営業損益

計画と実績の対比（軌道PL）

軌道事業の2016年4月～12月実績の専属営業損益は、以下のとおりです

単位: 百万円

	2016/4～2017/3月	2016/4～6月	2016/7～9月	2016/10～12月	2016/4～12月	進捗率 ②÷①	2015/4～12月	前年 同期比
	12ヶ月 計画①	第1四半期 実績	第2四半期 実績	第3四半期 実績	9ヶ月 実績②		前年同期 実績	
売上高	1,000	265	273	266	804	80%	782	103%
売上原価						-		-
差引収益	1,000	265	273	266	804	80%	782	103%
人件費	559	135	165	164	464	83%	448	104%
厚生費	70	19	24	21	64	91%	60	107%
動力費	77	17	22	18	57	74%	57	100%
修繕費	47	9	14	18	41	87%	43	95%
物件費	22	5	6	4	15	68%	14	107%
経費	60	15	20	16	51	85%	44	116%
諸税	16	2	1	2	5	31%	6	83%
減価償却費	46	13	10	9	32	70%	34	94%
営業費計	897	214	264	251	729	81%	706	103%
専属営業損益	103	51	9	15	75	73%	76	99%
減価償却前専属営業損益	149	64	19	24	107	72%	110	97%

<計画差異要因等>

✓ 売上高

- 計画を上回る進捗で推移

✓ 費用

- 人件費: 夏季・冬季の賞与月、時間外手当増
- 厚生費: 科目計上ルール変更に伴い増
- 修繕費: 車両・設備修繕の増
- 経費: ですかシステム更新賃借料、知寄町P&R賃借料等に伴う増
- その他: ほぼ計画どおりの進捗率で推移

✓ 専属営業損益

- 費用増により、やや計画を下回る推移

<科目計上ルール変更とは>

- ✓ 計画上、嘱託社員等の人件費+厚生費を全て人件費計上していたが、実績は人件費と厚生費をそれぞれに分けて計上している

<専属営業損益とは>

- ✓ 本社費配賦前の事業別営業損益

路線バスの2016年4月～12月利用状況: 運送収入は前年比95%、IC利用客数は前年比ほぼ100%で推移

- 本表は運送収入のみ
 広告収入及び、補償金等の特殊要因が含まれる「運送雑収入」は含めていない

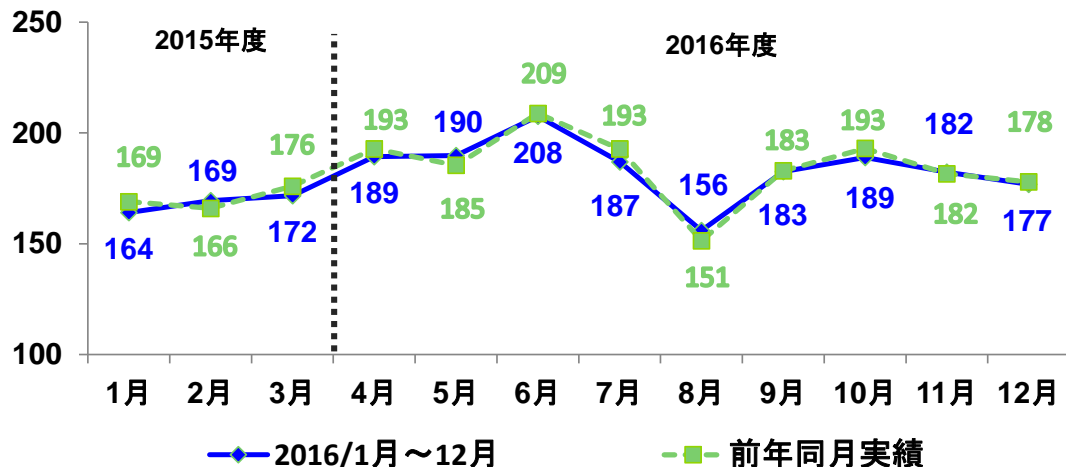
単位: 百万円

	2015/10～12月	2016/10～12月	2015/4～12月	2016/4～12月	前年 同期比 ②÷①
	3ヶ月 前年同期	3ヶ月 実績	9ヶ月 前年同期①	9ヶ月 実績②	
運送収入	277	263	856	817	95%
①定期全体	57	54	181	175	97%
②定期外収入	220	209	674	641	95%
うち、現金収入	120	112	369	344	93%
うち、SF	100	97	306	297	97%

<路線バス収入の増減要因>

- ✓ 2014年10月1日とさでん交通発足時のダイヤ改正にて△2.5%、及び2015年10月1日のダイヤ改正にて△0.6%、2016年10月1日ダイヤ改正にて△3.0%の減キロダイヤ改正を実施
- ✓ 運送収入95%の要因は、2016年4月～12月の雨天日が前年比△5日となったことに加え、9/20の台風運休、ダイヤ改正による減キロ、空港連絡バスの競合、各種割引施策による影響が考えられる
- ✓ なお、空港連絡バスを除いた路線バス収入は前年同期比97%で推移

<利用客数推移> 単位: 千人



<利用客について>

- ✓ 対前年同月比において2ヶ月は増加。2ヶ月は前年並み、その他は減少
- ✓ 9ヶ月累計のICカードでの利用客数は1,660千人、前年同期は1,667千人にて微減
- ✓ ほぼ前年並で推移している要因は、2015年10月以降に実施した各種割引施策等による利用促進施策の取組効果などが考えられる

- 利用客数は、ICカード「ですか」データに基づいており、現金などを除く
- IC使用率は約70%

軌道の2016年4月～12月利用状況：運送収入、IC利用客数ともに前年比100%で推移

- 本表は運送収入のみ
 広告収入及び、補償金等の特殊要因が含まれる「運送雑収入」は含めていない

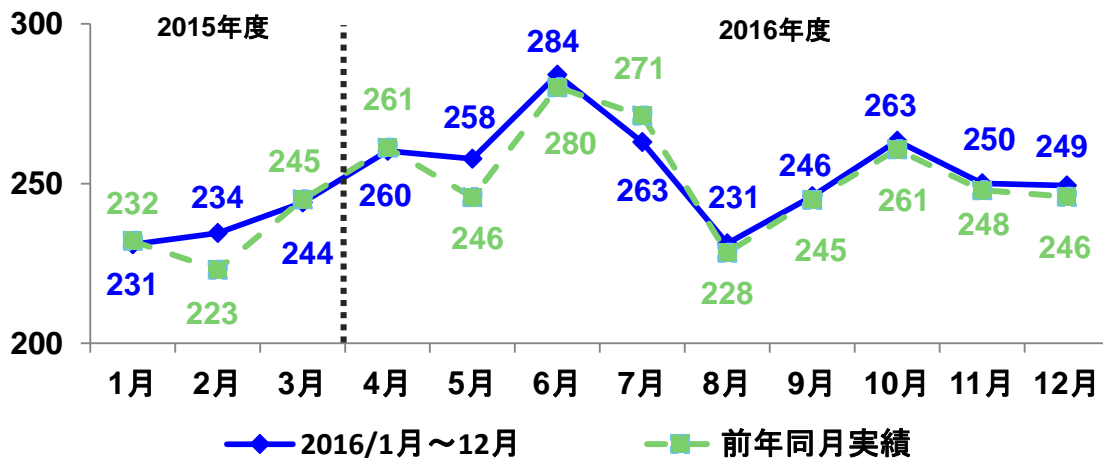
単位：百万円

	2015/10～12月	2016/10～12月	2015/4～12月	2016/4～12月	前年 同期比 ②÷①
	3ヶ月 前年同期	3ヶ月 実績	9ヶ月 前年同期①	9ヶ月 実績②	
運送収入	230	234	716	718	100%
①定期全体	61	62	190	193	102%
②定期外収入	170	173	526	525	100%
うち、現金収入	111	115	344	347	101%
うち、SF	59	58	182	178	98%

<軌道収入の増減要因>

- ✓ 運送収入は前年同期比並み
- ✓ 2016年4月～12月の雨天日は前年比△5日、また9/20の台風運休等のマイナス要素もあったが、利用促進施策の取り組み等の影響もあり前年並みになったと考える

<利用客数推移> 単位：千人



<利用客について>

- ✓ 4月・7月は減少、他の7ヶ月は対前年同月比増加
- ✓ 9ヶ月累計の今期利用客数は2,305千人、前年同期は2,286千人であり、前年同期比100.8%(ICカード利用客数)
- ✓ 増加要因としては、2015年10月以降の各種割引施策等、利用促進施策の取組効果などが考えられる

- 利用客数は、ICカード「ですか」データに基づいており、現金などを除く
- IC使用率は約50%

路線バスと軌道のこれまでの取組施策は以下のとおりです

《2016年度 実施施策》

内容	路線バス	軌道
■2016年4月1日～12月末まで		
1. バスこっち導入 4月～	○	-
2. 乗継割引サービス(はりまや橋エリア限定)開始 4月～	○	○
3. ですかキャンペーン実施 4月～・11月～	○	○
4. 空港連絡バスルート変更(東部自動車道の開通に伴う) 4月～	○	-
5. ローラー活動(前浜パークタウン/文珠/いの/一宮・薊野/十津ほか) 7回実施	○	○
6. 市内中心部電停 時刻表配布 4月	-	○
7. 高校県体応援一日乗車券の販売 5月	-	○
8. 電車の日イベント開催 5月	-	○
9. 公共交通体験プログラム〈電車とバスで高知をうろちょろ〉6月、12月	○	○
10. 遠地津波避難訓練実施 6月	-	○
11. 婚活電車の運行(5回運行)	-	○
12. 春・夏・冬休み!バスキッズ定期券販売開始 7月～	○	-
13. バスキッズイベント 7月・8月	○	-
14. ICですかナイスエイジキャンペーン実施 7月～	○	○
15. 安全運転訓練車・接遇研修施設運用開始 7月～	○	-
16. キャラバンバン(中央公園)ブース出展 バスこっち体験他 7月	○	-
17. 知寄町3丁目P&R運用開始 7月～	-	○
18. 風鈴電車の運行 8月	-	○
19. 平成28年度高知セカンドライフ友の会「リフレッシュ講座」講演 9月	○	○
20. 四国まるごと公共交通利用促進キャンペーン(交通安全広場) 9月	○	○
21. お客さまアンケートの実施 11月～	○	○
22. 婚活電車の運行 南国市観光協会 11月	-	○
23. FM高知ハイシックスリレーマラソン ブース出展 11月	○	-
24. 電車・バス合同防災・事故訓練 12月	○	○
■2017年1月1日以降		
1. 新春初詣きっぷ 1月	○	○
2. ローラー活動(八代～啞内/宮の奥～朝倉～鴨部) 1月、3月	○	○
3. 小学生を対象とした出前授業 2月～(潮江東小学校)	○	○
4. こうち環境博2017こどもワンダーランド ブース出展 2月	○	○
5. 幕末維新博 1日乗車券発売開始 3月	○	○
6. 土佐のおきゃく2017 ブース出展 おきゃく電車運行 3月	○	○

公共交通に係る設備投資計画の実施状況

2016年4月～12月の公共交通設備投資は、以下表のとおりです

【2016年度 設備投資計画進捗状況】

単位:百万円

事業	計画			実施		備考
	投資計画総額	主な投資内容	投資計画額	投資実績額	投資目的・狙い	
路線バス	108	補助車両(5両)の購入	99	37	安全安心、利便性向上	補助車両(2両)購入 平成29年3月に補助車両3両(62)購入
		利用促進・増収施策	0	0	利便性向上	平成29年3月末までにバス停改修工事(15基)を実施
		その他	9	8	安全安心、利便性向上	前浜休憩所設備工事他
軌道	138	レールの重軌条化	50	0	安全安心	大橋通～上町二丁目間(平成29年3月完了予定)
		鏡川橋橋梁所定動過重設計	28	0	安全安心	鏡川橋(平成29年3月完了予定)
		停留場拡幅・上屋改良等	15	0	安全安心	はりまや橋下(実施に向け対応中 完了日未定)
		踏切保安装置	11	0	安全安心	篠原および篠原八幡踏切(平成29年3月完了予定)
		電柱建替工事他	34	1	安全安心他	コンプレッサー内部品(電機子巻替)
合計	246		46			

■当年度に計画していた軌道の車両購入(1両:250百万円)は、車両メーカーの製造計画の関係で、次年度(2017年度)購入に変更

■路線バス低床化率 39.7%(平成28年12月末時点)【路線バス車両数141両(空港連絡除く)、うち低床車両56両】

【事業再生計画 設備投資計画進捗状況(累計)】

単位:百万円

		計画0期 15/3半期	計画1期 16/3期	計画2期 17/3期 (実績:~16/12)	計画3期 18/3期	計画4期 19/3期	計画5期 20/3期	累計	
路線バス	計画	109	151	111	111	111	111	703	
	実績	146	70	45				261	37.1%
軌道	計画	51	139	279	197	118	37	821	
	実績	51	125	1				177	21.6%